



キクスイ ラバーウォール (国土交通省仕様 JIS A 6021対応)

ホルムアルデヒド放散等級

F☆☆☆☆

キクスイラバーウォール: NSK - 0806018

キクスイラバーウォールモヨウ: NSK-0806019

JIS A 6021

建築用塗膜防水材
外壁用アクリルゴム系

「キクスイ ラバーウォール」は、アクリルゴムを主成分とする建築用塗膜防水材です。
高弾性の塗膜が抜群のひび割れ追従性を発揮し、建物を長期間保護します。

特長

01 高弾性

高弾性により、低温時でも十分な伸び性能を発揮します。

02 優れた防水性

伸縮性と弾性力に富み、下地のクラックに抜群の追従性を発揮し、
雨水の浸入を防ぎます。

03 建物を保護

中性化防止や塩害防止の効果に優れ、長期にわたって建物を
保護します。

用途

既存の仕上塗材塗り仕上げ等を改修する場合及びコンクリート打放し仕上げ外壁、
モルタル塗り仕上げ外壁等に外壁用塗膜防水材塗りを行う場合に適用する。

適用下地

コンクリート・セメントモルタル 等

※下地材により下地調整処理が必要になります。

●公共建築改修工事標準仕様（令和4年版）

ゆず肌状模様の場合

工程	材料・調合	施工用具・条件	塗回数	間隔時間(h) (23°C 50%RH)	所要量(kg/m ²)
プライマー	キクスイ 浸透性プライマーE 主 材：15 kg 無希釈	エアレススプレー ウールローラー 等	1	3以上	0.1以上
下地挙動緩衝材 ^{(注)1}	KS下地挙動緩衝材 主 材：4 kg 無希釈	へら、はけ 等	1	1以上	0.5以上
増塗材	キクスイラバーウォール 主 材：18 kg 清 水：0.3~1.0L	はけ 等	1	3以上	0.5~1.0
アクリルゴム系 塗膜防水材	キクスイラバーウォール 主 材：18 kg 清 水：0.3~1.0L	多孔質ローラー	2	18以上 工程内3以上	2.15以上
外壁用仕上塗料	ビュートップシリコン弾性 主 材：16 kg 清 水：0.8~1.6L	エアレススプレー ウールローラー 等	2	工程内2以上	0.25以上

凹凸状・凸部処理状模様の場合

工程	材料・調合	施工用具・条件	塗回数	間隔時間(h) (23°C 50%RH)	所要量(kg/m ²)
プライマー	キクスイ 浸透性プライマーE 主 材：15 kg 無希釈	エアレススプレー ウールローラー 等	1	3以上	0.1以上
下地挙動緩衝材 ^{(注)1}	KS下地挙動緩衝材 主 材：4 kg 無希釈	へら、はけ 等	1	1以上	0.5以上
増塗材	キクスイラバーウォール 主 材：18 kg 清 水：0.5~1.1L	はけ 等	1	3以上	0.5~1.0
アクリルゴム系 塗膜防水材	キクスイラバーウォール 主 材：18 kg 清 水：0.5~1.1L	リシンガン 口径：5~6mm 吹圧：0.5~0.6MPa	2 (注)2	16以上 工程内3以上	1.85以上
模様材	キクスイラバーウォールモヨウ 主 材：18 kg 清 水：0~0.5L	タイルガン 口径：6~8mm 吹圧：0.2~0.3MPa	1	18以上 凸部処理1以内 ^{(注)3}	0.7以上
凸部処理 ^{(注)3}	プラスチックローラーに塗料用シンナーをつけて均一に押える。			—	—
外壁用仕上塗料	ビュートップシリコン弾性 主 材：16 kg 清 水：0.8~1.6L	エアレススプレー ウールローラー 等	2	工程内2以上	0.25以上

(注)1.下地挙動緩衝材の適用は特記によります。幅0.2mm以上2.0mm未満のひび割れ部及びひび割れ部の延長上50mm以上に、50mm程度の幅で塗膜厚0.25mmに相当する所要量以上を端部に段差のないようにはけにより塗り付けてください。ひび割れ幅が0.5mmを超える場合は、プライマー施工に先立ち「カチオンRF」等下地調整塗材C-1適合品をすり込んでください。

(注)2.塗り回数は、製造所の指定に準じる事が規則です。

(注)3.凸部処理は、凸部処理状模様の場合のみに行う。



キクスイ ラバーウォール

(国土交通省仕様 JIS A 6021対応)

荷 姿

キクスイ ラバーウォール	NET 18 kg / 缶入
キクスイ ラバーウォール モヨウ	NET 18 kg / 缶入
キクスイ 浸透性プライマーE	NET 15 kg / 缶入
K S 下地挙動緩衝材	NET 4 kg / 缶入
ビュートップシリコン弾性	NET 16 kg / 缶入

公共建築改修工事標準仕様書

7節 外壁用塗膜防水材による改修

4.7.6 工法

- (3) **下地挙動緩衝材**を用いる場合は、幅0.2 mm 以上2.0mm 未満のひび割れ部及びひび割れ部の延長上50mm 以上に、50mm 程度の幅で塗膜厚0.25mmに相当する所要量以上を端部に段差のないようにはけにより塗り付ける。
なお、ひび割れが0.5mm以上の場合は、あらかじめひび割れ部に下地調整塗材C-1をすり込む。
- (4) **増塗り**は、はけにより、防水材塗りに先立ち、あらかじめ0.5~1.0kg/m²を端部に段差のないように塗り付ける。
なお、増塗りを行う部位は、プレキャストコンクリート、ALC パネル等の継手目地、建具回り、貫通部回り等の防水上重要な部位、出隅、入隅、目地部等の膜厚が薄くなりやすい部位、開口部回り等のひび割れが発生し易い部位、下地の動きが激しい部位等とする。

公共建築改修工事標準仕様書(令和4年版)より一部抜粋



注意点

掲載製品を取り扱う際は、各製品のSDS及び標準施工仕様書、注意事項を守って施工してください。
※上記の各種製品データは、**kikusuiダウンロードサイト** (『キクスイダウンロードサイト』を検索) でご確認ください。



 **菊水化学工業株式会社** 本社 ☎ 052-300-2222(代)

ホームページ <https://www.kikusui-chem.co.jp/>



仙台 ☎ 022-706-5710 大阪 ☎ 06-7668-5320
東京 ☎ 03-3981-2500 福岡 ☎ 092-433-6262
名古屋 ☎ 0568-69-5200